
■■■ 福祉社会学会ニュースレター 第40号 ■■■
Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.40

<http://jws-assoc.jp/>
E-mail: ws@univcoop.or.jp

***** INDEX *****

- 第14回大会の自由報告、テーマセッション報告の申し込みと予稿集について
- 福祉社会学会第14回大会テーマセッション報告者公募のお知らせ
- 現在、非会員で大会報告申し込みをお考えの方に
- 事務局からのお知らせとお願い

※この号はメーリングリストおよびWeb上での配信のみとなっています。

■第14回大会の自由報告、テーマセッション報告の申し込みと予稿集について

福祉社会学会第14回大会が2016年6月18日(土)・19日(日)に奈良女子大学(奈良市北魚屋東町)にて開催されます。

報告時間は1人30分を持ち時間とし、20分発表、10分討論を標準としますが、申込み数によって調整をお願いすることもあります。

<自由報告とテーマセッション報告の申込>

報告をご希望の方は、下記のURLにて、申込要領・申込書などをご確認のうえ、指示にしたがって、申し込んでください。

http://jws-assoc.jp/taikai/014taikai_bosyuu.html

特に下記にご留意ください。

★募集は電子メールのみの受付になります。期限はメールの受信時点です。

提出先アドレス：fukushi_syakai_taikai_entry_group@keio.jp

★「申込書」の応募締め切りは、2015年4月15日(土)です。

申込書は上記URLよりWordファイルをダウンロードして必要事項を記入のうえ、メール添付にてお送りください。

<予稿原稿の提出について(報告予定者の方々へ)>

★「予稿集原稿(A4版2枚)」の提出期限は、報告の申し込みと同じく4月15日(金)となります。お間違いならびに提出遅れのないようお願いいたします。上記ウェブページよりダウンロードした「予稿イメージ図」の書式にしたがって記入したWordファイルをメールに添付して送信してください。

提出先アドレス：fukushi_syakai_taikai_entry_group@keio.jp

■福祉社会学会第14回大会テーマセッション報告者公募のお知らせ

第14回大会（6/18, 19、於奈良女子大学）において、報告者公募型のテーマセッションが1件企画されています。会員の皆様、ふるってご応募ください。

★編集委員会企画（ピアレビューセッション）

「シティズンシップとその外部：複数の排除、複数の包摂」

企画責任者／問い合わせ先：亀山俊朗（中京大学現代社会学部）

t-kameya@sass.chukyo-u.ac.jp

【企画の趣旨】

本部会は学会編集委員会の企画として、学術誌への論文投稿を予定している会員を主な報告者として想定し開催される。報告者は原案を報告することにより、論文をより水準の高いものにしうる。もちろん、学会の部会は一般にこうした役割を持つ。ただ本部会は、報告者には議論を踏まえた近日中の論文投稿を、オーディエンスには新たな学術的成果を生み出す共同作業者としての積極的貢献を期待する。そして『福祉社会学研究』誌等の水準向上に資するものとしたい。

テーマについて説明を加えよう。これまで社会学は社会の外延を国民国家のそれと暗黙のうちに同一視してきた。福祉研究において、福祉国家のシティズンシップが鍵概念であったことからそれは知れる。しかしグローバル化が進むとされる現代、こうした枠組みを前提に研究を進めることはもはやできない。これは本部会が「外国人」問題のみを扱うことを意味しない。もちろん貧困や排除を考える際、国境を越えて移動する人々は無視できない。本部会にとっても、その福祉は大きな主題である。ただ、これまでもつぱら国内問題として扱われてきた諸課題に新たな接近をはかることもまた、本部会の狙いである。例えば外国人労働者の処遇は、女性や若者など脆弱な層の地位と密接に関連する。あるいは障害者の権利は、国際的な運動や条約にますます大きな影響を受けつつある。排除された人々の包摂も、ローカルな次元やトランスナショナルな次元などの多様なあり方が注目されるようになった。

本部会の報告には、ここで言及した「方法論的ナショナリズム」のような従来の枠組みを超えた視点を持ち込むことが期待される。ただそのことを踏まえていれば、福祉社会学研究全般にわたる幅広い主題での報告が歓迎される。学会編集委員会はこれまで述べたような問題意識でもって2017年度発刊の『福祉社会学研究』誌での特集を企図している。特集の趣旨に合致し、かつ高い水準を示している報告については、報告者に特集への執筆依頼（査読は実施）をすることがありうる。

【申し込みの手続き】

- ・報告希望者は、報告タイトル、報告の概要をメールにて3月20日（日）までに企画責任者までにお送りください。その際、件名を「福祉社会学会テーマセッション申込みの件」としてください。
- ・セッションへの採択の結果は、企画責任者より締め切り後数日以内に連絡いたします。
- ・採択された場合でも、報告申込み・予稿集原稿の提出締め切りは自由報告と同様に4月15日金曜までとし、各報告者が直接手続きを行うこととなります。報告申込み・予稿集の作成については、上記の通りです。

■現在、非会員で大会報告申し込みをお考えの方に

本学会での入会の次回承認は、6月大会時に開催予定の理事会となりますが、現在、非会員で大会報告申し込みをお考えの方も以下の手続きをすることによって、報告（自由報告、テーマセッション報告）のお申し込みを受け付けいたします（共同報告で、現在非会員の方が含まれる場合も同様です）。

(1) 報告は会員であることが条件となりますので、大会報告申し込み締切り時点の4月15日（金）必着にて、福祉社会学会事務局（〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学産業社会学部 鎮目真人研究室気付）宛て、入会申込書を郵送でお送りください。

なお、その際、「大会報告申し込み希望」であることを明記してください。

(2) 同時に、大会報告申し込みも、申込み要領にしたがい、4月15日（金）までに、担当研究委員宛て、電子メールで申し込んでください。

なお、その際、「事務局に入会申込書送付済み」を明記してください。

(3) 庶務理事ならびに理事会幹事会にて入会申込書の確認をさせていただいたうえで、仮入会の形とさせていただきます。この時点で、追加の確認事項や調整などが必要になりました場合は、庶務理事（鎮目真人）よりご連絡を取らせていただきます。

(4) 仮入会の状態にはなりますが、4月15日（金）提出締め切りの予稿集原稿をご用意いただき、担当研究委員宛て、電子メールでご送付ください。6月の大会時理事会にて入会を正式承認し、ご報告いただくこととなります。

上記の諸点をご了解のうえ、現在非会員で大会報告をご希望の方は、締切り時期までに、入会申込みならびに大会報告申し込みをおこなってください。なお、上記要領は大会報告申込みのみに適用されます。

9月締め切り予定の学会誌『福祉社会学研究』への投稿資格は、6月大会時理事会での入会承認が必要となりますから、現在非会員で入会後の投稿をご予定の方はお間違いのないようお願いいたします。

■事務局からのお知らせとお願い

住所変更やEmailのアドレスを変更した場合は、必ず大学生協・学会支援センター・福祉社会学会担当（学会のメールアドレス）までお知らせください（学会のメールアドレス ws@univcoop.or.jp）。

年度末には毎回多数のメールの不着が発生します。Newsletterを受信できていない方にお気づきの場合には、お手数ですが学会アドレスまでご連絡くださいますようお願いいたします。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局